

平成30年10月5日

議会議長 石川正洋様

総務建設委員長 長澤務

総務建設委員会の管外行政視察について（報告）

平成30年6月22日にご承認いただいた総務建設委員会の管外行政視察を実施いたしましたので、その結果を次のとおり報告いたします。

記

- 1 実施日 平成30年7月31日（火）から平成30年8月1日（水）
- 2 参加者 総務建設委員 8名  
議会事務局職員 1名
- 3 視察場所 群馬県吉岡町  
栃木県鹿沼市
- 4 視察概要 別紙のとおり

## 総務建設委員会管外行政視察報告書

### 群馬県吉岡町

#### (ぐんま“まちづくり”ビジョン吉岡町アクションプログラムについて)

群馬県が策定した「ぐんま“まちづくり”ビジョン」により、これからの県内におけるまちづくりの取組方針が明らかにされた。これに基づき総合計画や都市計画マスタープラン等との整合性を図りながら、人口減少・超高齢化社会への対応といった都市を取り巻く環境の変化を踏まえ、具体的なまちづくりの取組みを進めるための実現化計画として、吉岡町アクションプログラムを策定した。県と町の職員によるワークショップや、女性視点のワークショップの実施、庁内連携会議を開催し、問題点の明確化、問題解決に必要な機能と達成するための取組みを検討、共有、内容精査をした。その後、県への意見照会やパブリックコメント等の実施後公表に至った。

町内の駒寄スマート IC の利便性が図られ、町の悲願であったバイパス整備を予定、工業・商業の更なる発展に期待できるものとなり、重点プロジェクトが優先して実施されていた。県と連携して計画を策定していく中でこれから必要な機能や具体的な取組内容を共有することができ、人口減少に転ずるまで 30 年以上先と見込まれる中、将来を見据えたまちづくりが着実に実施されていた。

当町においても将来起こりうる問題点や課題を精査し、町民・各種団体・行政が連携した取組みの推進を期待したい。

### 栃木県鹿沼市（消防団の充実強化に向けた取組みについて）

鹿沼市の消防団では、団員の確保が年々困難になってきている中、充実強化ビジョンの策定、消防団組織の再編等様々な取組みがされていた。団員経験のある支援団員が災害時のみ活動する機能別団員制度や、消防団員やその家族に一定の優遇措置を提供する事業所を募集、認定し、カードを提示することで様々な特典が受けられる消防団サポート店事業も実施されていた。

広報、PR においては、ポスターや広報誌等の紙媒体だけでなく、消防団員、団員の家族、消防団サポート店等が出演する PR 動画を作成していた。消防団についての様々な声を編集し、活動内容やそれぞれの思いの伝わるものとなっていた。作成した PR 動画は YouTube 等で配信したり、自動車学校などへテレビを設置し放映、DVD を企業へ配付するなど、若い世代が目にする媒体を活用して消防団の活動に対しての理解を深めてもらい、勧誘活動のサポートとして大きな役割を担っていた。住民に幅広く消防団活動を知ってもらうことで、団員が誇りを持って活動できることにつながっていた。

当町においても消防団員の活動がさらに地域に理解され、地元のために貢献することに誇りを持ち、同じ思いを持って活動する団員が増えるよう期待する。